



ICOM ミュージアム・カフェのきろく

2017.11.17 18:00~20:00 東京国立博物館 レストランゆりの木
(東京近辺の若手・中堅博物館関係者 43名)



司会：稲庭彩和子さん（東京都美術館学芸員）

2019年にICOM（国際博物館会議）の3年に一度の大会であるICOM京都大会が開催されます。昨年ICOMミラノ大会2016には私も参加し、世界各国の博物館関係者と交流を持つことができました。今回、スアイ・アクソイICOM会長が「世界科学館サミット」に出席されるため、東京にお越しになりました。そこで本日のICOMミュージアム・カフェでは、アクソイ会長を交えて、ICOMについて知り、2019年のICOM京都大会、そして未来の日本のミュージアムについて考える会にしたいと思います。

ICOMについて：スアイ・アクソイICOM会長／

半田昌之ICOM日本委員会事務局長

（アクソイ会長）私は、今年5月に京都で開催された国際博物館の日記念シンポジウムで初来日し、東京は初めての訪問になります。今回皆さまとこうしてICOMについて語り合う機会を持ったことをとても嬉しく思います。皆さまのなかには、まだICOMのことをよく知らない方もいらっしゃると思いますので、ここで少しICOMについて説明します。

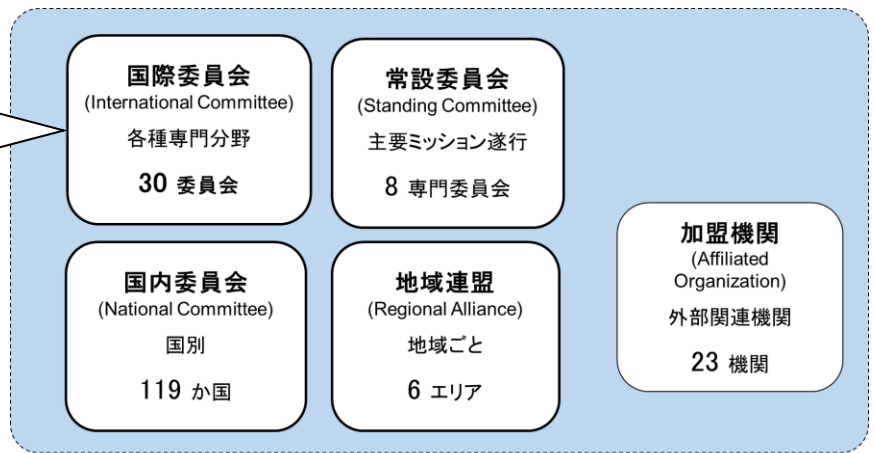


ICOM(国際博物館会議)とは、世界の博物館や文化遺産をとりまく環境の進歩・発展のために、国際的な協力を図る非政府組織(NGO)です。現在、世界141の国と地域から、約3万7千人の会員が参加しています。

ICOMには、国別に組織された119のNational Committees(国内委員会)と博物館の様々な専門分野に即して組織された30のInternational Committees(国際委員会)があります。



国際委員会年次大会一覧(2017年)



ICOMの組織構成

(半田事務局長) ICOM 日本委員会は、119 ある国内委員会の1つとして活動しています。会員が選んで所属できる国際委員会は、歴史や考古学、民族学、自然科学、博物館教育、展示、運営など様々な分野に渡り、毎年世界中で年次大会を行なっています。これらの国際委員会が2019年の京都大会では、一堂に集まります。日本での大会開催は初めてで、まだ日本ではICOM 会員が少ない状況にあります。日本のミュージアムの未来の為にオール日本で取り組みたいと思っておりますので、皆さまにはぜひ参加していただきたいです。



① 博物館の国際的な規範の確立

UNESCOの
ミュージアムに関する勧告作成協力
Recommendation Concerning the Protection and Promotion of Museums and Collections, their diversity and their role in society

ICOM博物館倫理規程の策定
ICOM Code of Ethics for Museums

② 有形・無形文化遺産の保護

危機にさらされた文化財
Red List (レッド・リスト)の作成

標準的な収藏品台帳
Object ID 作成の推奨

専門委員会: (DRMC)
災害リスクマネジメント委員会の設置・活動

文化財の不法輸出入の見張り番
システム設置 (税関・INTERPOLとの連携)

The Blue Shield
ブルーシールド国際委員会との協力関係

③ 博物館専門家の人材育成

国際研修センター
International Training Centre (ITC)
主催の博物館専門研修(年2回)

各国際委員会等主催の
セミナーやワークショップ
Seminars and Workshops
by International Committee etc.

(アクソイ会長) 次に、ICOM のミッションについて説明します。

1つめは、博物館における専門的基準や実践規範を作ることです。例えば、博物館倫理規程や国際委員会により作成した専門的基準や実践規則などです (<http://icom.museum/professional-standards/>)。

2つめは、有形・無形文化遺産の保護です。これは、文化財に関する違法行為と戦うこと、例えば、各国の税関署などと連携してレッド・リストを作ったり (<http://icom.museum/programmes/fighting-illicit-traffic/>)、文化財の緊急保護として、イラク戦争やネパール地震など被害を受けた地域に専門家を派遣し、文化財等緊急保護をおこないます

(<http://icom.museum/the-committees/standing-committees/standing-committee/disaster-risk-management-committee/>)。

3つめは、博物館における専門家養成施設を設置することやプログラムを開催することです。中国北京にある博物館国際トレーニングセンター (International



Training Centre for Museum Studies: ITC) を設置し、博物館動向に合わせてテーマを選択、春と秋に毎年2回、10日間の研修を開催します。そのほか、国際委員会が世界各地で研修プログラムも開催します (<http://icom.museum/activities/training/>)。

(半田事務局長) 日本からも ICOM 若手会員が ITC の研修に毎年参加しています。

詳しくは、ICOM ホームページをご覧ください。

(<http://icom.museum/activities/training/icom-international-training-centre-for-museum-studies/>)

(稲庭さん) ここで皆さんに、昨年のミラノ大会 2016 の記録動画と、ICOM 京都大会プレゼン動画をご覧いただきます。

ICOM ミラノ大会 2016 映像：

(ICOM 京都大会準備室 邱君妮研究員) ミラノ大会では、基調講演やパネルディスカッションなどの全体会議の他に、30ある国際委員会などが、同時並行でセッションやワークショップ、オフサイト・ミーティングなどを開催しました。また、ミラノ大聖堂でのコンサートや市内博物館の夜間開館などのソーシャルイベントや、ミラノ近隣及び遠方を巡るエクスカージョンやツアーも実施され、開催地・開催国を挙げてのイベントとなっていました。



ICOM ミラノ大会 2016 <https://youtu.be/3qDQcXtNLiM>

京都大会プレゼン映像：

(邱 研究員) このビデオは京都大会招致用に作成したものです。開催地京都には、伝統文化が息づき、様々な分野にわたる 200 を超えるミュージアムがあること、メイン会場である国際会館のアクセスの良さなどを紹介し、京都が ICOM 大会を開催するにふさわしい場であることを PR しています。



ICOM 京都大会 2019 <https://youtu.be/LCA88v3tuO8>



アクソイ会長インタビュー：

Q (稲庭さん) アクソイ会長にお尋ねします。
会長はいつから ICOM と関わるようになったのですか？
ICOM と関わるきっかけを教えてください。

A(アクソイ会長)



私は1995年からICOMと関わり、活動を始めました。しかし、トルコ国内委員会の事情があり、2007年までは会員になれませんでした。私がICOM活動をするようになったのは、トルコ国内の博物館事情を改善し、さらに良くするため、世界の博物館の動きを知り、世界の博物館から解決策を学びたいと思ったことがきっかけでした。そのために、会員になれないにもかかわらず、ICOMの専門家と一緒に活動し、2007年に会員になった後は、都市博物館のコレクション・活動国際委員会(CAMOC)の委員会や2013年に諮問委員会の委員長に選ばれ、2016年から会長を務め始めました。ICOM活動をすることで、トルコ国内の博物館事情を改善できて、今ももちろん活動し続けています。

Q(稲庭さん) 2019年のICOM京都大会に期待すること、日本の博物館や現場の学芸員の皆さんにぜひやってもらいたいことを教えてください。

A(アクソイ会長) まず日本の博物館の質の高さに驚きました。日本のコレクションや教育プログラムが充実しているので、ぜひ京都大会で世界の専門家にシェアしてもらいたいと思います。京都大会では世界中の博物館関係者が日本に来日しますが、平和で寛容な日本だからこそ、世界から来た専門家が安心して交流できる会議を開催することができると思います。ぜひ、日本の博物館の現場の皆さんにたくさん参加してもらいたいと思います。なにか質問はありますか？

Q(参加者質問) ICOMの団体会員と個人会員の制度の違いについて教えてください。

A(アクソイ会長) 会員となった団体(団体会員)は、3人の代表者を設けることができます。個人会員は3つの国際委員会に所属出来ますが、団体会員の代表者は1人あたり1委員会、団体としては合わせて3つまでです。個人会員と同じく、所属委員会で役員の選挙権及び被選挙権を持つことができますが、役員に選ばれた団体会員代表者が、所属する団体を離職した場合、個人会員になるか、役員の権限を放棄しなければなりません。

「ICOMと私」：ICOM京都大会運営委員 白原由起子さん／渡辺友美さん

(稲庭さん) では、実際のICOM会員の方から、ICOMとご自身とのつながりや経験をお聞きしてみましょう。ICOM京都大会の運営委員でもある白原さん(根津美術館)、渡辺さん(お茶の水女子大学)にお話いただきます。



(白原さん) 私は、アメリカシアトル美術館の勤務を経て日本に戻り、根津美術館で働きはじめました。その時、根津美術館の館長から国際化推進の事業を任せられ、ICOM活動を始めました。根津美術館にICOMを勧め、美術館が団体会員になり、当館団体会員の代表者として本格的なICOM活動をおこなっています。日本の組織では、「縦社会」の特徴があり、博物館現場での問題や課題について、若手学芸員が自由に発言しにくい雰囲気があるけれど、ICOMでは上下関係なく平等に、実状を包み

隠さずお話できる組織なので、横のつながりができ、博物館現場に大変参考になる交流が生まれます。

(お茶の水女子大学 渡辺さん)

私は、若手の立場からお話をさせていただきます。私は最初、日本展示学会の助成で展示・交流国際委員会 (ICEE) に参加し、また 2015 年には ICOM 日本委員会の助成で中国北京にある博物館国際トレーニングセンター (ITC) の研修を受けました。世界中の同世代の博物館関係者と友人になり、自身の国内での博物館活動をシェアしながら、他の国の博物館の動きも知り、とても楽しく博物館に関する仕事を進められています。



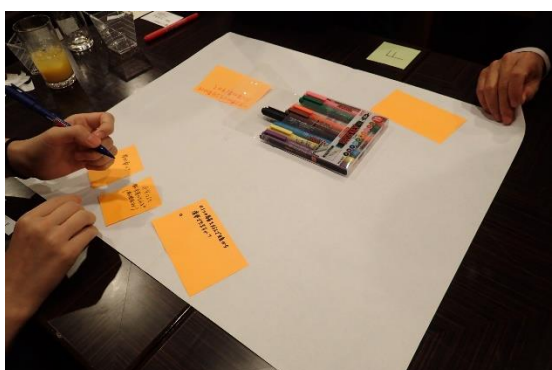
ブレイク：食事、歓談、名刺交換 20分

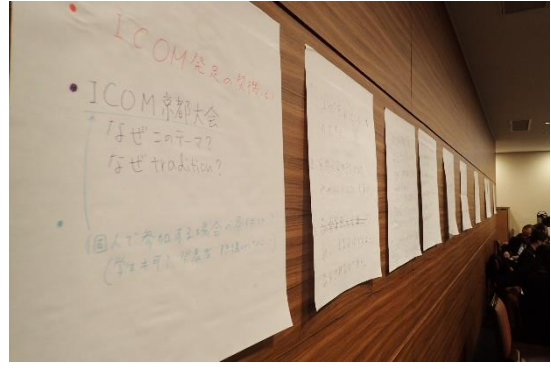
食事しながら歓談、名刺交換をしました。(参加者を4人に1つのグループ分け)



ブレイクダウン・セッション「ICOM 京都大会 Q&A」：参加者全員

(稲庭さん) 前半 ICOM に関する説明を聴き、新たな疑問や質問が出てきた方もいらっしゃると思います。後半の部では皆さんに、ICOM 京都大会の日本語版ホームページに掲載する Q&A を考えていただきます。まず個人で2つの質問を考え、その後グループで3つの質問を作ってください。





(稲庭さん) それでは、各グループの質問をみていきましょう。

• ICOM発足の契機は?

• ICOM京都大会
なぜこのテーマ?
なぜtradition?

• 日本人が参加する場合の条件は?
(社名? 社名 英語の能力?)

① ICOM京都大会に
参加できる対象について
・学生、博物館のボランティア
・知識に興味ある方
参加できますか?

② 京都大会でボランティアする
にはどうしたらいいですか?

③ Institutionalメンバー3名
海外ではどう選出されていますか?

1. なぜ京都にしたのですか?

2. 京都大会のテーマにサブテーマはありますか?

3. ~~各委員会の会議の閉~~
新しい委員会はどのように
設立されるのですか?

• ICOMの会員になるには
どうすればいいでしょうか?
(条件? 費用?)

• 京都大会に各博物館は
参加できますか? どんな役に立つ
ことができますか?

• ICOMに加盟した博物館に
対する助言あるいは評価を
行いますか?

① 参加費はいくらですか? (大会)
全日参加でも1日参加でも同じ
参加費ですか?

② 日本国内で同じ委員会の人と交流
や情報交換はできますか?

③ 1つの委員を選んだ後、他に交更
できますか?

① ICOM会員でなくても
参加できるプログラムはありますか?

② ICOMとは何か?
分かりやすく一言で知りたい。

③ 加盟館の中で近年目覚ましい
活躍や変化のある
ミュージアムはどこですか?
(そしてどんなところがですか?)

① ICOM大会を通じて実際解決されたまたは
改善された事例が"あれば"教えてくださり。

② ICOM参加の意義をひとこと
言ったら、何ですか?

③ 半日しか時間がなくても参加する
意味はあるでしょうか?

④ 参加すると実際どれくらいお金の節約?

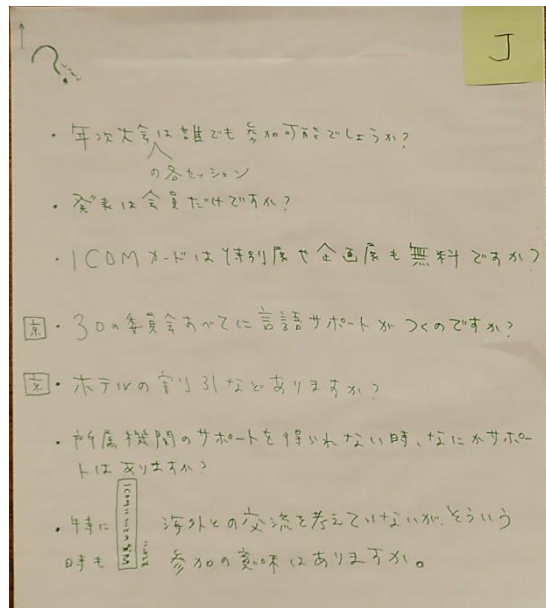
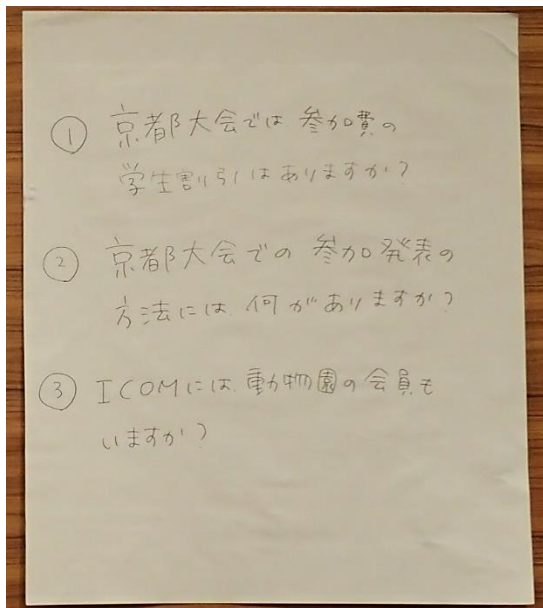
⑤ 参考文献はありますか?

⑥ 「助成金」ありますか?

① 東京への Museum Tours は
企画2024年3月ですか? ☺

② 東京にある Museums に
期待されていることはあるのか? ☺

③ ホンテアム報(公募)は
どのように行われますか?



(稲庭さん) たくさんの質問が出てきましたね。なかには、答えるのがちょっと難しそうな質問もありそうです。

時間が押していますので、このなかからいくつかの質問をピックアップして、ICOM 京都大会事務局とアクソイ会長に回答してもらいましょう。



Q (参加者) ICOM に加盟した博物館に対する助言あるいは評価をおこないますか?

A (邱 研究員) 国際委員会により、助言または評価をおこないます。賞を与える委員会もあります。

(アクソイ会長) ICOM には常設委員会 (Standing Committees) が設けてあります。この委員会でも博物館倫理規定の策定や文化財の違法取引の取り締まりなどを通じて博物館に対し助言または評価をおこなっています。

Q (参加者) ICOM の会員になるにはどうすればいいでしょうか? (条件? 費用?)

A (半田事務局長) ICOM 日本委員会の宮戸が担当しますので、メール等でご連絡ください。

<https://www.j-muse.or.jp/icom/ja/inquiry.php>

Q (参加者) ICOM には動物園の会員もいますか?

A (邱 研究員) 動物園は別の組織 WAZA (World Association of Zoos and Aquariums 世界動物園水族館協会) がありますが、ICOM 京都大会は動物園の関係者の参加も大歓迎です。

Q (参加者) 東京への Museum Tours は企画されているのか?

A (邱 研究員) 京都大会には各地へのエクスカージョンを企画できるように頑張ります。もちろん、皆様のご協力で東京へも企画できたらと思います。国際委員会によっては、東京への

オフサイト・ミーティングを検討しているところもあります。

Q (参加者) (ICOM 京都大会での) 発表は会員だけですか？

A (邱 研究員) 多くの国際委員会では、非会員の参加また発表を募集します。詳細な情報は ICOM 京都大会のホームページでご確認ください。



Q (参加者) 30 の委員会すべてに言語サポートがつくのですか？

A (邱 研究員) 各国際委員会の判断によりますが、付けてもらえる様、京都大会事務局はじめ担当する運営委員も頑張りますので、ぜひ参加してください。

Q (参加者) ICOM 京都大会に参加するには、「助成金」がありますか？

A (邱 研究員) ICOM 本部は 40 歳以下の若手向けに京都大会の参加助成 (交通費・滞在費・参加費等) 希望を募集します (2018 年 9 月頃予定)。ぜひ時期が近づいたら、京都大会のホームページを見てください。

(アクソイ会長) ICOM 本部だけではなく、各国内委員会と国際委員会からも ICOM の会議に参加する助成金を出しています。また、各委員会のルールにより、若手以外にも助成を出す委員会があります。詳細な情報は各委員会のホームページを見てください。

Q (参加者) 特に海外との交流を考えていないが、そういう時も参加の意味はありますか。

A (白原さん) 意味があります。国際的な文脈の中で、自分や自分の所属する組織の活動がどのように位置づけられるのかを知ることは、ご自身の職場の活動の質の向上や充実につながっていくと思います。

(稲庭さん) ありがとうございます。それでは、終わりの時間が近づいてまいりましたので、アクソイ会長より締めのお言葉いただきます。

(アクソイ会長) 本日は素敵な会をありがとうございました。普段若手の博物館関係者と ICOM について直接お話する機会があまりなかったので、今回はとても嬉しかったです。この会をきっかけにぜひ ICOM の会員になっていただき、来年度の各国際委員会の年次大会で再び皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



(稲庭さん) 本日皆さんに考えてもらった質問は、整理し回答をつけて、年内に ICOM 京都大会の日本語版ホームページに掲載する予定です。ICOM 京都大会は、開催地だけでなく日本の博物館全体が向上するチャンスだと思います。今夜のカフェを始まりとして、ICOM 京都大会について皆さんと一緒に考える機会を今後もつくっていきたいです。本日はありがとうございました。

【参加者アンケート抜粋・要約】

ミュージアム・カフェの感想

- ・ ICOM や ICOM 京都大会について理解が深まりました。
- ・ 和気あいあいとフレンドリーな雰囲気交流できてよかったです。
- ・ 分野を超えた交流ができ非常に有意義でした。ぜひまた開催をお願いします。
- ・ 普段接することのない方々と話す機会となり、新鮮でした。
- ・ 会長をはじめ、ICOM に関わっている方々のお話が参考になりました。
- ・ ICOM に関わると、個人としてどういうことがあるかイメージ出来るようになりました。
- ・ (ICOM に) どんな委員会があるのかを知ることができたのが収穫でした。
- ・ 少し慌ただしかったので、後半の参加型セッションの時間がもっと多いとよかったです。
- ・ 京都大会を前に、もう少し踏み込んだ議論ができればと思いました。
- ・ 日々の仕事に追われるなかでも、心と目を開いて興味・関心を持ち続けていきたいと感じました。

ICOM 京都大会に望むこと

- ・ ICOM について普及してほしい。京都大会 Web サイトを充実してほしい。
- ・ 開催地京都だけでなく東京も巻き込んで、日本全体で盛り上がっていききたい。
- ・ 地域に根ざした博物館も巻き込んでほしいと思います。
- ・ 参加を望む人が誰でも、気軽に参加できるといいですね。
- ・ 関係者だけでなく、一般の人にもミュージアムに興味・関心を持ってもらえる大会になってほしい。
- ・ 今日の社会的課題に Vivid に反応する大会であってほしいです。
- ・ 日本のミュージアムをめぐる状況に対する問題提起や戦略的なヴィジョンが提示されてほしい。
- ・ お互いの知見やミュージアムの未来について、日本全体の中で語られる機会であってほしい。
- ・ 日本国内のミュージアムの概念にとらわれない、新しい活動を始めるきっかけとなってほしい。
- ・ プライベートで参加することも前提として、なるべく参加料を抑えてもらえるとありがたい。